手稲高校放送局ＯＢＯＧ会報

期待の新入生大量入部！学校祭も無事終了！

活動報告　春～夏編

放送局ではここ数年、局員が毎年増える傾向にあったが、今年度は新たに十二名の新入生が入局を決意してくれた。既に入局から４ヶ月近くが経過し、仲良く活動出来ているようである。

ちなみに、今年の新入生が入局を志望するきっかけとなったのは、学校説明会での部活動体験が大きかったようである。現役生のみなさんには、来年以降の放送局のさらなる発展のためにも、部活動体験のより一層の充実をお願いしたい。

さて、一年生が初めて経験する大きな行事といえばなんといってもＮコンであるが、今回は局内でのコミュニケーションがうまくいかなかったようで、制作が間に合わず、番組作品の提出は見送られた。一年生の貴重な体験の機会を不完全燃焼で終えてしまう形となってしまった。

Ｎコンが終わると手稲高校のビッグイベントである手稲高祭が行われる。今年は、毎年お世話になっている音響会社が消滅し、その音響会社の社員有志が新たに設立した会社に音響を依頼するという形になった。その中で、会社側の連絡がうまくいっていなかったようで、電源の取り方の不具合により、二度ほどブレーカーが落ちてしまったようであるが、その他は順調に手稲高祭を終えることができたようである。

現役生たちは現在、学校説明会に向けての活動中だ。

機材も充実

放送局にマイクやカメラなどたくさんの新機材が導入されている。

マイクはＳｈｕｒ製のＢｅｔａＳＭ５７やワイヤレスマイク等、マイクスタンドも追加購入した。

さらになんと、大型ハイビジョンビデオカメラが導入された。

今回導入されたのはＳＯＮＹのＡＸ－２０００。時代の流れとなりつつあるメモリ記録型のハイビジョンビデオカメラだ。かなりマニュアル操作が可能となっており、画作りのスキルを磨くことができる。一方、今後はＤＶテープのワークフローとの共存となるが、新たにメモリや外付けＨＤＤを購入せねばならなくなり、資金面等で今後の課題となりそうだ。

編集後記

今回、かなり久々に会報を発行した。なかなか発行できずに大変申し訳ない。

私は大学でも放送部に入部した。高校の放送局に入った当初と同じように人もお金も足りない状態だ。大学の放送部を盛り上げていかなければいけない中で、手稲高校放送局の活動の中で培った交渉スキルなどを役立てたいと思う。

手稲高校放送局は、学校説明会が終わればいよいよ高文連が始まるわけだが、Ｎコンのようにならないよう、自分が現役時代に言っていたことを書いて終わりたい。

失敗したなら、自分が二度と同じ失敗をしないように、また、後輩に同じ失敗をさせないように。」

頑張れ現役生！